



食の海外展開のための 「ブランド・ローカライズ」セミナー

～マレーシア市場に刺さる商品の魅せ方と知財管理の重要性～

食の海外展開には、商品の価値が海外のターゲットに伝わることが重要です。

北海道経済産業局では、商品パッケージをマレーシア向けにローカライズする支援を実施しました。

「ブランディングやローカライズって、何だか難しそう」「模倣品対策が心配だ」

このセミナーが、そうした不安を解決するヒントになれば幸いです。

日時 2026年2月24日(火) 10:00～11:50

形式 オンライン配信 (Microsoft Teams)

プログラム

※講師・登壇者の詳細は、裏面をご参照下さい

●報告「令和7年度マレーシア向けブランディング支援事業」

HAYASHIYA B&M Consultant 代表 林屋智子

北海道経済産業局 地域経済部 食・観光産業課

●トークセッション「マレーシア向けブランド・ローカライズの成果」

(株)北海道米菓フーズ 代表取締役 廣島俊郎

(株)ベイクド・アルル 代表取締役 香川慶太

●講演「海外展開における知財管理の重要性」

(独) 工業所有権情報・研修館 (INPIT) 知財戦略エキスパート 後藤光夫

講師・登壇者

HAYASHIYA B&M Consultant

代表 林屋智子

マレーシアに特化した、販路開拓の専門会社の代表を務め、現地独自のネットワークをもって、日本とマレーシアを年10回往来しながら、地方自治体・中小企業の販路開拓支援サービスを提供。



(株)北海道米菓フーズ 代表取締役 廣島俊郎

2011年に(株)北海道米菓フーズを設立。同社は、旭川市で北海道産原料にこだわった米菓を製造。油を使わない製造技術の特許を有し、海外への輸出実績も多数。ヘルシーさを武器に、マレーシア向けローカライズに挑戦。



(株)ベイクド・アルル 代表取締役 香川慶太

2010年に(株)ベイクド・アルルに入社。2017年から代表取締役に就任。同社は北海道フェアで累計600万個を販売した「なまらでっかいシュー」や、「こぼれとうきびパン」などの商品を製造。北海道産原料にこだわった品質の高さを武器に、マレーシア向けローカライズに挑戦。



(独)工業所有権情報・研修館（INPIT） 知財戦略工キスパート 後藤光夫

精密機械メーカーで、設計開発や特許出願・権利化、知財戦略検討、知財管理等を歴任。海外現地法人や公益財団法人日本台湾交流協会にて、模倣品対策や台湾進出日系企業の知財支援を担当。



お申込方法

締切：2/19（木）17時

お問い合わせ先のE-mail宛てに、所属、役職、氏名をお送りください。

TeamsのURLは、申込締切後にご連絡します。

お問い合わせ先

経済産業省北海道経済産業局

地域経済部 食・観光産業課（担当：八嶋）

E-mail : bzl-hokkaido-shokukanko@meti.go.jp

TEL : 011-709-2311（内線2593）